

～夢・チャレンジプロジェクト～

施策1 志を持って、失敗を恐れずチャレンジする人材を育てる（目標）

○子どもたちに基礎的・基本的な知識・技能を習得させ、それを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力、主体的に学習に取り組む習慣や学ぶ意欲をはぐくむ。

○子どもたちの積極的な社会参加を進め、創造性や企画力・課題解決能力などを育て、自主的に地域社会に貢献する態度を育てる。

| 平成 25 年度の主な施策（計画） | 工程表 | | | | |
|--|---|--|--|---|---|
| | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 |
| <p>・新規千葉県の教育に関する懇話会事業</p> <p>○確かな学力の向上</p> <p>・「ちばのやる気」学習ガイド配信事業</p> <p>・「学びの突破ロガイド(児童用)」の作成</p> <p>・全国・学力状況調査分析</p> <p>・「ちばっ子チャレンジ100」の活用</p> <p>・「思考し、表現する力」を高める実践モデルプログラムの活用</p> <p>・確かな学びの早道「読書」事業</p> <p>・新規理科の観察・実験指導資料集(中学校)の作成・配付</p> <p>・指導主事学校訪問等</p> <p>・新規学習サポーター派遣事業</p> <p>○夢をはぐくむ教育の推進</p> <p>・子ども参観日キャンペーン</p> <p>・夢チャレンジ体験スクール</p> | <p>配信システムの構築、1年生評価問題の作成・2回配信</p> <p>中学2年生版作成配信 評価問題配信 ・91%の学校で活用</p> <p>国語・算数の問題作成、公開</p> <p>小6校・中2校で公開授業</p> <p>訪問19校、会議39回、指導133回</p> <p>20企業</p> <p>21機関等 313名</p> | <p>ガイド作成8,000部 各学校へ配付</p> <p>国語10問 算数10問 作成、公開</p> <p>改良普及</p> <p>・指導事例集作成、県内中・高に配本 ・実践例をホームページ紹介</p> <p>訪問19校、会議43回、指導140回</p> <p>17企業等 46事業所</p> <p>31機関等 311名</p> | <p>・中学校3年生版完成 ・評価問題の作成・配信・見直し</p> <p>ホームページ掲載</p> <p>改良普及</p> <p>・推進実践校指定 ・読書の道しるべの活用</p> <p>訪問15校、会議41回、指導130回</p> <p>15企業等 44事業所</p> <p>36機関等 338名</p> | <p>・(仮称)「千葉県の教育に関する懇話会」開催</p> <p>・評価問題の作成・配信・見直し ・1年生版学習ガイドの改訂版作成</p> <p>・ガイド作成・各学校へ配付</p> <p>・調査結果の分析・課題の改善</p> <p>・国語、算数の問題更新、理科の問題追加 ・ホームページ掲載</p> <p>・実践プログラムの改良と普及 ・実践事例の収集</p> <p>・読書の道しるべの活用</p> <p>・中学校理科の1分野の資料集を作成、教師へ配付</p> <p>・県立高校訪問、各教科等の指導</p> <p>・「学習サポーター」を小中学校165校に配置</p> <p>・企業・県機関等での実施を促進</p> <p>・県内企業・試験研究機関等での職場体験等の実施</p> | <p>児童の学力向上を目指して</p> <p>学力向上策への活用</p> <p>各教科の問題を更新</p> <p>思考力・表現力向上への活用</p> <p>資料の活用</p> <p>職場体験・先端技術体験の提供</p> |

→ 継続して事業を進めていく予定のもの ⇨ 進捗状況に合わせて事業内容を展開していくもの

平成 25 年度主な施策の概要

・新規千葉県の教育に関する懇話会事業 【1,000 千円】教育政策課

次期「教育振興基本計画」の策定も視野に入れ、当面する教育問題等について有識者の意見を聞くために、(仮称)「千葉県の教育に関する懇話会」を設置する。

○ 確かな学力の向上

・「ちばのやる気」学習ガイド配信事業 【4,132 千円】指導課

教員や生徒の学習教材として中学 1・2・3 年生版学習ガイドを授業で活用するとともに、1 年生の改訂版を作成する。また、学習ガイドに基づいた県下共通の評価問題を作成し、実施結果に基づき、生徒一人一人の課題や、授業の改善にも活用できるシステムを web 上に整備する。

・「学びの突破口ガイド(児童用)」の作成【2,850 千円】指導課

小学校で学ぶ基礎・基本から応用までの内容について、児童がつまずきやすい学習上の要点を集め、つまずきの克服のためのガイド(中学生版)を作成し、各学校に配付する。

・全国・学力状況調査分析【160 千円】指導課

調査結果のデータを基に、課題の改善を図り、学校ごとの学力向上策に積極的に生かす。

・「ちばっ子チャレンジ100の活用」【200 千円】指導課

全国学力・学習状況調査の問題を基に、児童の思考力・判断力を高める問題及び基礎・基本となる問題を作成し、県教育委員会のホームページに掲載して小学校での活用を図る。

・「思考し、表現する力」を高める実践モデルプログラムの活用【一千元】指導課

子どもたちの学力に関する課題を解決し、指導方法の改善、教員の授業づくりを支援するために作成した『思考し、表現する力』を高める実践モデルプログラム』の改善と、その普及に取り組む。

・確かな学びの早道「読書」事業【一千元】指導課

児童・生徒の読書活動推進及び思考力・表現力向上に向け、「読書指導の道しるべ」の活用を促すとともに読書好きの子どもの育成を図る。

・新規理科の観察・実験指導資料集(中学校)の作成・配付【825 千円】指導課

理科に対する生徒の関心・意欲を高めるために、理科の観察・実験のアイデアやポイントを集め、教師の指導力向上に資する指導資料を作成・配付する。

・新規学習サポーター派遣事業【98,000 千円】指導課

市町村立の小・中学校(千葉市立を除く)に、退職教員や教員志望の大学生など多様な地域人材を「学習サポーター」として派遣し、放課後の補習等による学習支援、少人数指導や習熟度別指導などの授業支援等を行い、児童生徒の基礎学力の底上げや学習意欲の向上を図る。

○ 夢をはぐくむ教育の推進

・子ども参観日キャンペーン【132 千円】生涯学習課

子どもたちが親の働く姿に接し、働くことの大切さを知ることができるよう、企業等に「子ども参観日」を設定するよう働きかけるとともに、実施した企業を県教育委員会のホームページ上で紹介する。

・夢チャレンジ体験スクール【2,560 千円】生涯学習課

千葉県の多様な産業や大学等と連携を図り、第一線で活躍する企業人の講話、職場見学や職場体験などの社会体験、大学レベルの講義等で構成する体験スクールを実施する。

| 平成 25 年度の主な施策（計画） | 工程表 | | | | |
|----------------------------------|----------------------------|---------------------------------|---------------------------------------|--|----|
| | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 |
| ・中学生の1日高校体験入学 | 全日制で全校、定通で9割実施 12万人 | 公立高校全日制・定時制で実施 | 公立高校全日制・定時制で実施 | 公立高校全日制・定時制で実施 | → |
| ・小・中・高連携の特別授業 | 141回 | 156回 | 199回 | 180回程度 | → |
| ○子どもや若者の社会参加の促進 | | | | | |
| ・ボランティア活動推進事業 | ・ボランティア活動支援センター ・講座6回実施 | ・ボランティア活動支援センター設置 ・講座6回実施 | ・ボランティア活動支援センター設置 ・講座6回実施 | ・ボランティア活動支援センター設置 ・ボランティアスキルアップ講座 ・高校生のためのボランティア体験講座 | → |
| ・高校生等防災教育基礎講座 | 9校実施 | 8校実施 | 10校実施 | 10校で実施 | → |
| ・高校生等防災パワーアップ講座 | 30名受講 | 中止 | 80名受講 | 50名の受講計画 | → |
| ・学校における消費者教育の推進 | 14校 | 56校 | 30校で実施 | 30校で実施 | → |
| ・「お兄さん、お姉さんと学ぼう」事業 | | 県立校5校 | 10校で実施 | 県立校12校を指定 | → |
| ・県立学校教育用コンピュータの整備 | 32校の機器を更新 | コンピュータ整備 普通科18校 特別支援学校等4校 | ・コンピュータ整備 普通科18校 ・教育情報ネットワークの構築 | ・教育用コンピュータ整備 ・千葉県教育情報ネットワークの運用管理 ・県立特別支援学校流山高等学園、夷隅特別支援学校、榎の実特別支援学校の計3校の更新整備及び安房特別支援学校館山豊分校(仮称)の不足分の追加整備 | → |
| ○環境を守るために行動できるひとづくりの推進 | | | | | |
| ・千葉県環境大使と進める環境保全事業「ようこそ 千葉県環境大使」 | 小・中各1校に派遣 | 小・高各1校に派遣 | ・シンポジウムの開催 ・「千葉県環境大使」の派遣 | ・県民向けシンポジウムの開催 ・小・中高等学校への「千葉県環境大使」の派遣 | → |
| ・環境学習人材育成・活用事業 | 91件派遣 | 環境学習アドバイザー派遣40回 | 環境学習アドバイザー派遣 | 環境学習アドバイザーの派遣 | → |
| ・環境学習施設運営事業・啓発業務 | 施設見学講義13件 | 施設見学受入3校、講師派遣4校 | 講座実施 講師派遣 | ・講座実施 ・学校への講師派遣 | → |

→ 継続して事業を進めていく予定のもの ⇨ 進捗状況に合わせて事業内容を展開していくもの

平成 25 年度主な施策の概要

・中学生の1日高校体験入学【一千元】指導課

公立高校が中学生等に対し、自校の施設を公開して情報提供を行い、中学生が充実した高校生活を通して自己実現を果たすための主体的な進路選択を支援する。

・小・中・高連携の特別授業【586千円】指導課

県立高校の教員が小・中学校に出向いて、得意とする専門分野の学習内容をわかりやすく指導し、児童生徒の興味・関心を高め、自分で課題を見つけ、解決できる創造的な能力を育成する。

○ 子どもや若者の社会参加の促進

・ボランティア活動推進事業【614千円】さわやかちば県民プラザ

ボランティアコーディネーターを常駐させた千葉県体験活動ボランティア活動支援センターにおいて、ボランティア活動・体験活動の情報収集・提供、スキルアップ講座の開催等を行う。また、ボランティア相互の交流により、ボランティア活動の普及を図る。また、高校生を対象に、様々な分野のボランティア学習と演習を実施するなど、若者のボランティア活動の推進を図る。

・高校生等防災教育基礎講座【650千円】防災危機管理課

高校生が、防災講演会等を通して、命の大切さ、災害の実情、災害時の心得などを学び、災害時には、地域の力となり、適切な行動がとれるような能力を育成する。

・高校生等防災パワーアップ講座【330千円】防災危機管理課

高校生が、防災についての専門的な知識や技術を学び、学校や地域で災害時に適切な対応ができる、防災のリーダーとなる人材を育成する

・学校における消費者教育の推進【367千円】県民生活課

消費者教育推進のための教員研修や学校向け出前講座を実施する。

・「お兄さん、お姉さんと学ぼう」事業【540千円】指導課

県立高等学校の生徒が、近隣の小中学校の児童・生徒を対象として、小中学校教諭と共に授業や補習等を行う。児童・生徒が高校生からの授業を受けて学習のつまづきを克服し、高校生も教えるための学習を行い、ともに学びあう機会を提供する。

・県立学校教育用コンピュータの整備【618,356千円】指導課・特別支援教育課

社会の情報化に対応して、県立高等学校、特別支援学校の児童生徒の情報活用能力を育成、職業的自立を図るため、教育用コンピュータを整備するとともに、学校から安全にインターネットに接続できる環境を整備し、社会の情報化に対応した情報活用能力を育成する。

○ 環境を守るために行動できるひとづくりの推進

・千葉県環境大使と進める環境保全事業「ようこそ 千葉県環境大使」【1,313千円】環境政策課

千葉県環境大使とともに実施する、環境学習や体験学習など、環境教育の企画を小・中・高等学校から募集し、そこに環境大使を派遣する。

・環境学習人材育成・活用事業【4,387千円】環境政策課

学校に環境学習アドバイザーを派遣する。

・環境学習施設運営事業・啓発業務【2,760千円】環境研究センター

環境に関する講座、施設見学等による学習機会の提供、学校への講師派遣を行う。

～夢・チャレンジプロジェクト～

| |
|--|
| <p>施策2 歴史と伝統文化に親しみ、郷土と国を愛する心を育てる（目標）</p> <p>○自分の学校や地域への誇りと愛着、自らが地域づくりを担うという意識を培うことにより、郷土や国を愛する心を育てる。</p> <p>○子どもたちの豊かな情操、創造的な感性をはぐくみ、自国の文化や歴史・伝統のすばらしさを理解させることにより日本人としての自信と誇りを持たせる。</p> |
|--|

| 平成25年度の主な施策（計画） | 工程表 | | | | |
|---|--|--|--|--|---|
| | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 |
| <p>○郷土と国の歴史や伝統文化等について学ぶ教育の推進</p> <p>・ふさの国文化財ナビゲーション</p> <p>・県立博物館情報システム事業</p> <p>・授業に役立つ県立博物館プロジェクト</p> <p>・出土文化財管理活用事業</p> | <p>66件登録 60件修正</p> <p>11,497件登録</p> <p>学習プログラム等の開発</p> <p>学習キット配付180校 宅配127回</p> | <p>95件登録 資料公開</p> <p>・新システム開発 ・データ更新・整備</p> <p>学習キット開発4種類、貸出511件</p> <p>学習キット配付150 宅配120</p> | <p>資料のデータベース化</p> <p>新システム運用</p> <p>学習キットの開発・貸出</p> <p>出土文化財学習キットの作成・配付</p> | <p>資料のデータベース化 資料公開</p> <p>・システムの活用と内容の充実</p> <p>・学習キットの開発・貸出 ・学校・イベントへの出張展示、体験学習の実施</p> <p>・出土文化財学習キットの作成・配付 ・土器と古代宅配便 ・出土文化財の公開</p> | <p>→</p> <p>→</p> <p>→</p> <p>全小学校への配付終了</p> |
| <p>○文化に触れ、親しむ環境づくり</p> <p>・ちば文化発信プロジェクト</p> <p>・プロに学ぼう「器楽クリニック」(邦楽)</p> <p>・伝統芸能継承者育成事業</p> <p>・学校体育実技(武道)認定・指導者養成講習会</p> <p>・美術館・博物館展示事業</p> <p>・県立博物館における郷土食の講座・体験事業</p> | <p>計80,760人入場</p> <p>小10校 中4校</p> <p>6事業 497名</p> <p>柔道14名 剣道11名</p> <p>調理体験講座</p> | <p>計14校 3,473名</p> <p>計14校</p> <p>6事業</p> <p>柔道12名 剣道14名</p> <p>講座16回 282名参加</p> | <p>美術・博物館で特別展開催</p> <p>計14校</p> <p>8事業</p> <p>柔道13名 剣道9名 展示事業29件</p> <p>郷土料理体験講座</p> | <p>・特別展「ちばと航空」 ・「博物館に行こう」プロジェクト</p> <p>・各教育事務所管内で2～3校実施(計14校)</p> <p>・伝統芸能・生活文化で計8事業を実施</p> <p>・柔道・剣道の指導者の養成</p> <p>・展示会の開催 23件</p> <p>・郷土料理体験、講座の開催</p> | <p>→</p> <p>→</p> <p>→</p> <p>→</p> <p>→</p> <p>→</p> |
| <p>○文化財の保存・継承</p> <p>・房総の郷土芸能</p> <p>・管理指導事業</p> <p>・文化財保存整備事業</p> <p>・文化財探検隊事業</p> <p>・遺跡見学会</p> | <p>東金市 816名</p> <p>巡視900件 講習88名</p> <p>国6件 県7件</p> <p>年3回 121名</p> | <p>銚子市 765名</p> <p>巡視講習124名</p> <p>国6件 県9件</p> <p>年3回 96名</p> | <p>休止</p> <p>文化財巡視講習会開催</p> <p>国7件 県5件</p> <p>年3回</p> | <p>・年1回開催</p> <p>・文化財の巡視 ・管理指導講習会の開催 ・台帳整備</p> <p>・指定文化財の保存整備の助成 ・国指定8件 県指定6件</p> <p>・年3回開催</p> <p>・年1回開催</p> | <p>→</p> <p>→</p> <p>→</p> <p>→</p> <p>→</p> |

→ 継続して事業を進めていく予定のもの ⇨ 進捗状況に合わせて事業内容を展開していくもの

平成 25 年度主な施策の概要

○郷土と国の歴史や伝統文化等について学ぶ教育の推進

・ふさの国文化財ナビゲーション【558 千円】文化財課

国・県指定文化財の広報普及と埋蔵文化財包蔵地の周知を目的として、地図上に所在地・範囲を図示した地理情報及び関連情報をインターネット上で広く一般に提供する。

・県立博物館情報システム事業【30,543 千円】文化財課

県立美術館・博物館の企画展等の情報のほか、収蔵品や調査・収集した資料をデータベース化し、インターネット上でデジタルミュージアムとして広く一般に情報提供を行い、千葉県の文化に対する関心を高め、郷土を愛する心を育てる。

・授業に役立つ県立博物館プロジェクト【3,386 千円】文化財課

県立美術館・博物館が合同で博物館の収蔵資料・常設展等における教育資源を学校の授業に活用できるように、学習キットや団体向けの学習プログラムの開発、講師派遣等、学校教育支援を推進する。

・出土文化財管理活用事業【1,838 千円】文化財課

県内の遺跡から出土した文化財を活用して、出張展示・出前授業・体験学習を実施する他、学校教育で利用できる学習教材キットの作成・配付を進める。

○文化に触れ、親しむ環境づくり

・ちば文化発信プロジェクト【20,000 千円】文化財課

千葉県の文化に対する県民の関心を高めるため、県立博物館において特別企画展を開催するとともに、小中学校の新入生に無料入場券をプレゼントし、千葉の文化に触れるきっかけをつくる。

・プロに学ぼう「器楽クリニック」（邦楽）【800 千円】県民交流・文化課

児童生徒を対象として、邦楽団体に委託し、プロの和楽器奏者による演奏体験と観賞指導を行う。

・伝統芸能継承者育成事業【1,800 千円】県民交流・文化課

小中高生を対象に、伝統芸能の参加体験と成果発表を併せて行う事業に対し、補助を行う。

・学校体育実技（武道）認定・指導者養成講習会【150 千円】体育課

武道授業における体育教員の実技能力の向上を図るため、講習会を実施する。

・県立美術館・博物館展示事業【35,780 千円】文化財課

県立美術館・博物館による、文化等魅力あるテーマの企画や、収蔵資料を公開する展覧会を開催する。

・県立博物館における郷土食の講座・体験事業【391 千円】文化財課

県立関宿城博物館、県立房総のむら等で、伝統的な郷土料理の調理体験や講座等を開催する。

○文化財の保存・継承

・房総の郷土芸能【1,447 千円】文化財課

民俗芸能について、県民の理解と認識を深め、伝承活動の活性化や後継者を育成するため、神楽、獅子舞、祭り囃子等の上演を行う、「房総の郷土芸能」を開催する。

・管理指導事業【2,551 千円】文化財課

文化財の適切な保護と管理を図るため、国指定文化財と埋蔵文化財の巡視、各市町村教育委員会及び文化財所有者に対する文化財の管理の実務等に係る講習会の実施、指定文化財の台帳整備を行う。

・文化財保存整備事業【48,480 千円】文化財課

建造物・美術工芸品等有形文化財の保存修理や記念物の環境整備など指定文化財等の保存・活用のため、所有者や管理団体が行う保存整備事業に対して助成を行い、貴重な文化財の保護促進を図る。

・文化財探検隊事業【一千元】文化財課

地域の文化財や文化資源等を巡り、郷土の自然、歴史、文化等に関して理解を深めるとともに、文化財保護の推進、郷土愛の育成を図る。

・遺跡見学会【一千元】文化財課

発掘調査成果の公開のため、現地説明会を行い、文化財保護の推進、郷土愛の育成を図る。

～夢・チャレンジプロジェクト～

| |
|---|
| <p>施策3 異文化を理解し、国際的コミュニケーション力のある真の国際人を育てる（目標）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 子どもたちの異文化理解や国際交流を進め、国際協調の精神を養う。 ○ コミュニケーションを積極的に図ろうとする態度を養い、自国や郷土について外国語で伝えることができる力を育てる。 ○ 外国人児童生徒等の受入れ体制の整備、学びを支援するとともに、日本人児童生徒との交流の機会を増やし、互いの異文化理解を深める。 |
|---|

| 平成25年度の主な施策（計画） | 工程表 | | | | |
|--|---|---|--|--|---|
| | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 |
| <p>○多様な文化を認め合う国際社会の担い手の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校生等の国際交流の支援 ・工業教育における国際交流事業 ・グローバル人材プロジェクト ・「21世紀東アジア青少年大交流計画」に基づく国際交流の支援 ・幕張アジアアカデミー事業「アジア総合学科」の開催 | <p>交流支援 ウイスコンシン州・デュッセルドルフ市</p> <p>ベトナム派遣 工業高校5名・研修員受入2名</p> <p>中国高校 生受入11高校 中国への高校生派遣</p> <p>7高校 アジア13国</p> | <p>交流支援 ウイスコンシン州・デュッセルドルフ市</p> <p>ベトナム派遣 ・教員4名、 ・受入2名</p> <p>中国高校 生受入7校200名 中国への高校生派遣</p> <p>アジア総合 学科実施4校</p> <p>86名</p> <p>47名招致</p> <p>24会場 約880名</p> | <p>交流支援 ウイスコンシン州・デュッセルドルフ市</p> <p>工業高校生の交流支援</p> <p>「高校生留学等推進協議会」開催 ・高校生海外留学助成事業</p> <p>アジア総合 学科実施</p> <p>30名×1組</p> <p>47名招致</p> <p>・26会場</p> | <p>・ウイスコンシン州との高校生国際交流の支援 ・デュッセルドルフ市とのスポーツ交流の支援</p> <p>・JICA 草の根交流事業採択後、派遣受入</p> <p>・高校生等海外留学助成事業(25名補助) ・英語教育強化推進事業 ・海外からの留学生との交流会の開催(18校) ・海外理解促進事業</p> <p>・高校生を対象としたアジア総合学科の実施</p> <p>事業終了</p> <p>・外国語指導助手招致47名</p> <p>・23会場</p> | <p>自主的な相互交流を支援</p> <p>→</p> <p>→</p> <p>→</p> <p>→</p> <p>外国語教育の研究 成果を小中学校に普及</p> |

- 継続して事業を進めていく予定のもの
- ⇒ 進捗状況に合わせて事業内容を展開していくもの

平成 25 年度主な施策の概要

○ 多様な文化を認め合う国際社会の担い手の育成

- ・ 高校生等の国際交流の支援 【一千万円】 教育政策課、指導課、体育課

高校生のコミュニケーション能力や異文化理解を一層深める海外派遣や受入れを支援する。

- ・ 工業教育における国際交流事業 【5,252 千円】 教育政策課

工業高校生の技術交流等の支援を行うとともに、JICA「草の根技術協力事業」として、ハノイ工科短期大学の研修生の受入、県内高校教員の派遣を通じて工業分野における技術支援や特別支援教育分野で活用できる教材開発についての技術交流などを行う「工業教育におけるベトナムとの相互交流事業」を実施する。

- ・ グローバル人材プロジェクト 【13,111 千円】 指導課

急速に進展するグローバル化に対応するため、子どもたちに対し、国際的に活躍できる「グローバル人材」を目指す機会を提供し、本県の次代を担う子どもたちの成長に貢献する。

- ・ 幕張アジアアカデミー事業「アジア総合学科」の開催 【112 千円】 国際課

アジアの国々の文化等について、県内の高校生を対象に、アジア経済研究所開発スクールの研修生として来日中の海外行政官等による授業を行う。



○ 外国語教育の充実

- ・ 語学指導等を行う外国青年招致事業 【213,949千円】 指導課

国際化社会に対応した教育の推進の一環として、語学指導等を行う外国青年を招致し、外国語教育及び国際理解教育の一層の充実を図る。

- ・ 外国語活動小・中連携推進会議 【一千万円】 指導課

小学校外国語活動の完全実施に伴い、新学習指導要領に即した外国語教育の推進を図るため、これまで行ってきた研究事業の成果を小・中学校に普及するための推進会議を実施する。

| 平成 25 年度の主な施策（計画） | 工程表 | | | | |
|---|--------------|--------------|--------------|---|--|
| | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 |
| ○外国人児童生徒等の受入れ体制の整備 ・外国人県民向けの情報提供体制整備 ・外国人児童生徒等教育相談員派遣事業 ・外国人児童生徒等の教育に関する協議会 | 多言語での情報提供 | 多言語での情報提供 | 多言語での情報提供 | ・外国人県民に対する、多言語での情報提供 ・外国語による相談対応を行う外国人テレフォン相談事業 ・教育相談員の派遣 ・研究協議会 1 回 | 情報提供・相談体制の充実   |
| | 23校 33名派遣 | 22校 33名派遣 | 25校 39名派遣 | | |
| | 1回 25名 | 1回 24名 | 連絡協議会 1 回 | | |

- 継続して事業を進めていく予定のもの
- ⇒ 進捗状況に合わせて事業内容を展開していくもの

平成 25 年度主な施策の概要

○ 外国人児童生徒等の受入れ体制の整備

・外国人県民向けの情報提供体制整備【4,373千円】国際課

外国人県民に対し、教育、医療、住宅、雇用、災害対策等の生活に密着した分野で、多言語での情報提供を行う。また、県内在住の外国人が安全で快適な暮らしができるよう、外国語による総合的な相談窓口として外国人テレホン相談事業を実施する。

・外国人児童生徒等教育相談員派遣事業【9,774千円】指導課

県立学校に在籍する日本語指導を必要とする外国人児童生徒に対して、児童生徒の母国語を理解する教育相談員を派遣し、日本語指導及び適応指導等の支援体制の充実を図る。

・外国人児童生徒等連絡協議会【49千円】指導課

外国人児童生徒等に対する教育を円滑に実施するため、適応指導、日本語指導等、外国人児童生徒の教育の充実を図るための協議を行う。